

菅野昭正

クレピュスキユールの人

松浦寿輝

日本におけるヴァレリーには長い歴史と蓄積がある。一九三〇年代から数多くの先達によって翻訳・紹介は活潑に試みられ、日本の読者がヴァレリーの主要な作品に親しみ、そこに結晶したフランス的精神と知性の精髄を知る機会を提供してきた。数次にわたるヴァレリー翻訳は、筑摩書房の誇るべき伝統である。

今回の『ヴァレリー集成』は詩篇を別にして、ジャンルと主題による分類を組みあわせたところに特色が見られる。ヴァレリー作品の理解を深めるために、この分類がそれに有効であるのはいうまでもない。また、二十世紀後半、フランスで新たに開発された研究・批評の方法の成果が、今度の新しい訳業にはおそらく十分に生かされているにちがいない。しかし翻訳の命は帰するところ、日本語訳文の文体である。知的な明晰さ、肉感的な豊かさ、心理的な精妙さをひとつに溶けあわせたヴァレリーのフランス語が、現代にふさわしい新鮮で正確な日本語に移されることを、読者諸賢とともに切実に期待している。

推薦のことば

名声赫々たるアカデミー・フランス教授にしてコレ・ジユ・ド・フランス教授、第三共和政フランスの「桂冠詩人」ヴァレリー、それはいわば「星のヴァレリー」だ。他方「夜のヴァレリー」がいる。創造の秘儀に沈潜し、精神と言語の機能を観照し、身体の闇に瞳を凝らす「純粹自我」の人。だが、真のヴァレリーは恐らく「夜」と「星」のあわいにいる。数学と官能の、社交と沈思の、地中海的明視と沸騰する欲動のはざまに——若きパルクが啜り泣く薄明・薄暗の波打ち際にいる。徹底的に「真夜中の詩人」であった師マラルメとの相違がそこにある。『ヴァレリー集成』全六巻は、光と影が複雑に交錯するこの「あわい」の時空を、六つの主題の定立によって整序し分節化し、その畏るべき全貌の輪郭を触知させてくれる貴重な試みだ。寄せては返す波に洗われて日々更新され、わたしたちの精神を絶えず清新な息吹きで満たしてくれるこの奇蹟的な場所を再訪しなければならない。

第1回発売 ◇ 2月上旬
ヴァレリー集成 I 978-4-480-77061-5 予価 6510円（税込）

第2回発売 ◇ 4月上旬 ヴァレリー集成 II

この著作集の特色

- 二十世紀を代表する詩人・批評家、ヨーロッパ的知性の最高峰として世界の注目を集めた文人の著作を、理解の鍵となる六つの角度からテーマ別に集成、すべて新訳で収録し、明快で読みやすい訳文によって新鮮なヴァレリー世界を提示する。
- 人間精神の本質に透徹したまなざしを注いで紡がれた著作、世界的水準の研究者たちにより、未刊の草稿・書簡など最新の研究成果を踏まえてその今日的な側面を明かす。

造本・体裁

◎A5判・上製・平均520頁 ◎本文12.5Q・1段組

◎装幀 = 神田昇和



ご注文・お問い合わせは、お近くの書店または下記の小社サービスセンターへ

筑摩書房 〒331-8507 さいたま市北区柳引町2-604
電話 048(651)0053 10.12.Kinmei 10

ヴァレリー集成

全6巻 定期購読を申し込みます

●お名前

●ご住所・お電話

●お申し込み書店

ヴァレリー集成

全6巻

筑摩書房

ヨーロッパ的知性の最高峰に聳え立つ
20世紀最大の詩人・批評家の著作を
テーマ別に編み、明快な新訳で集成する

